

フィールドワークのおさそい

「重監房」から人間の尊厳を考える



重監房資料館

「重監房」とは、群馬県草津町にある国立療養所栗生楽泉園の敷地内にかつてあった、ハンセン病患者を対象とした懲罰用の建物で、正式名称を「特別病室」といいました。しかし、「病室」とは名ばかりで、実際には患者への治療は行われず、「患者を重罰に処すための監房」として使用されていました。

日 時 2014年10月25日(土)

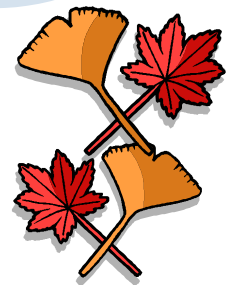
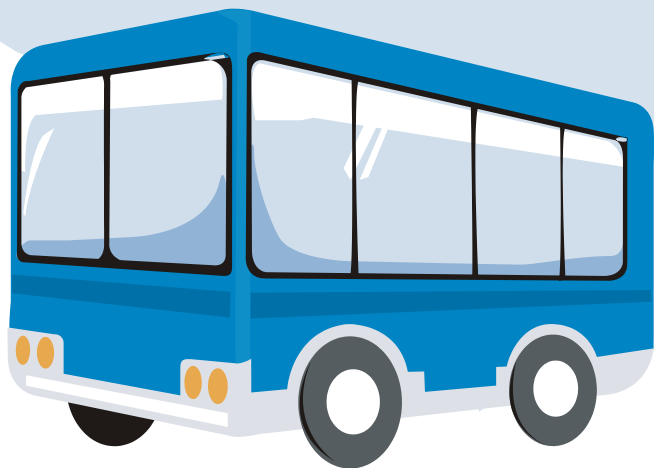
出 発 7:30カトリック高崎教会→8:30カトリック渋川教会
(帰り 渋川教会着17:00予定、高崎教会着18:00予定)

場 所 国立療養所栗生楽泉園(群馬・草津町)

バス代 2000円(学生・18歳未満 1000円)

定 員 25人 ※定員になり次第締め切り

昼 食 各自持参



主 催 カトリックさいたま教区部落差別人権委員会
申し込み及び連絡先: 矢中幸雄(090-3042-8519) 根津正幸(090-2733-8260)